

2027年3月期　中間期
決算説明会資料

2026年11月16日
ホシデン株式会社

© 2026 Hosiden Corporation

2026年度　業績概況

・中間期実績：増収増益

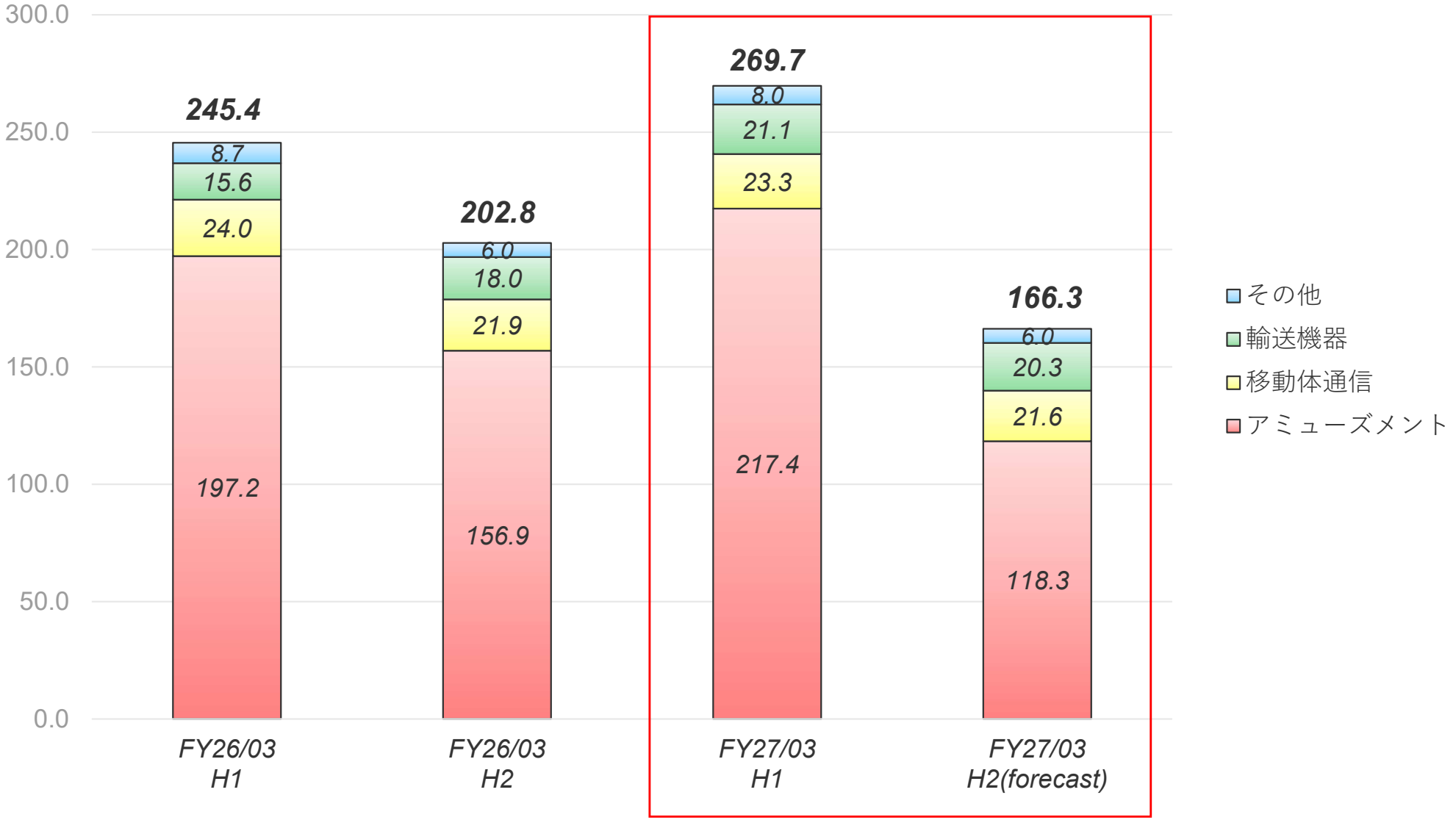
	前年同期	当期実績	差異	
売上高	2,454億円	2,697億円	+243億円（+9.9%）	アミューズメント +202億円 移動体通信 △7億円 輸送機器 +55億円 その他 △7億円
営業利益	81.0億円	92.3億円	+11.3億円（+13.9%）	・売上高の増加 ・前年同期に営業利益を押し下げた急激な円高の影響が今期は発生なし
経常利益	95.9億円	96.8億円	+0.9億円（+1.0%）	営業外 為替差損 2.7 億円 （前年同期は9.3億円の差益）
為替レート	146.04円/USD	159.37円/USD		

ポイント

- 売上高は、アミューズメント向け及び輸送機器向けの伸長により前年同期比9.9%増となった。
- 営業利益は、売上高の増加に加え、前年同期に発生のあった円高による利益押し下げがなかったことにより前年同期比13.9%増となった。
- 経常利益は、前年同期に発生のあった為替差益9.3億円が当中間期は為替差損2.7億円となったものの、営業利益の増加11.3億円により前年同期比1.0%増となった。

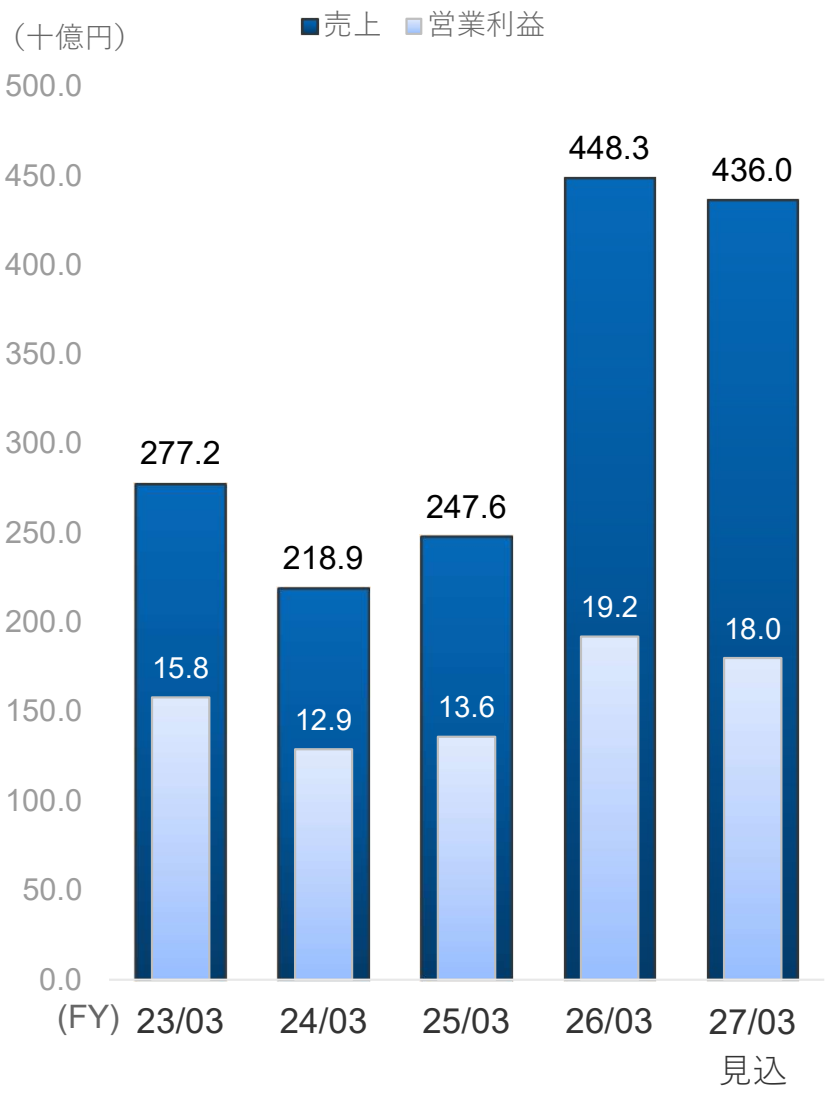
使用機器別売上高（半期毎）

（単位：十億円）

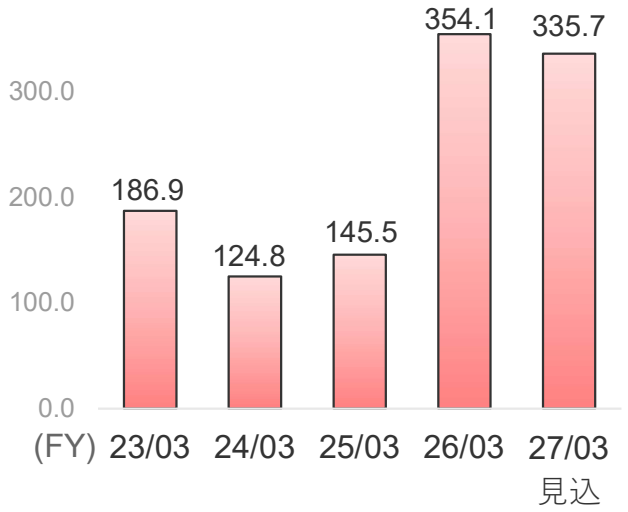


使用機器別通期売上高推移

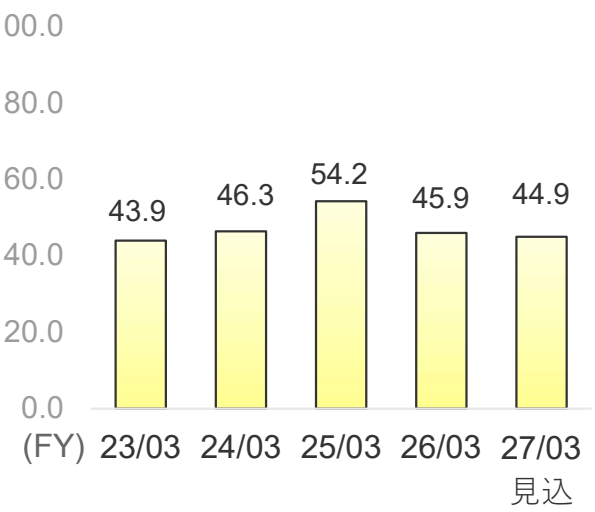
売上高・営業利益



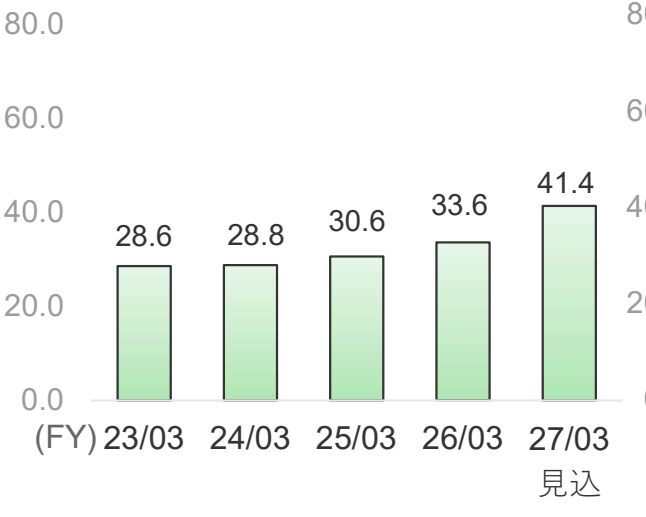
アミューズメント



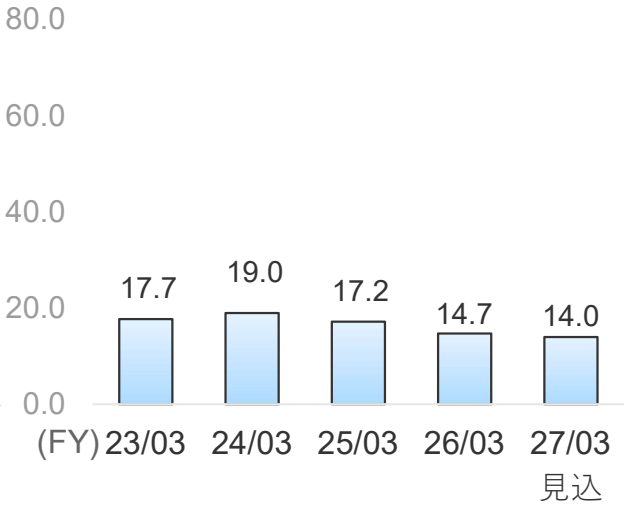
移動体通信



輸送機器



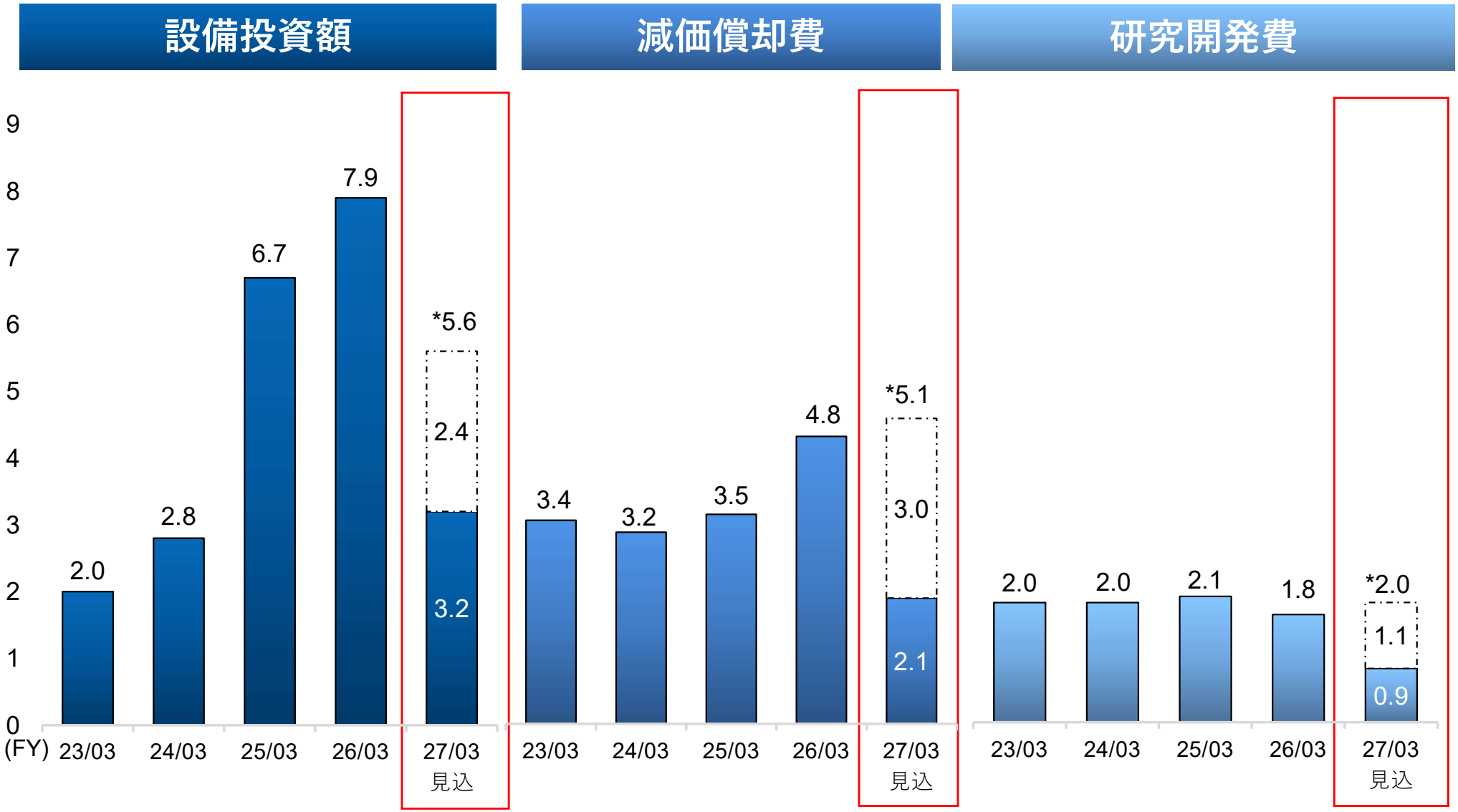
その他



© 2026 Hosiden Corporation

設備投資額・減価償却費・研究開発費　通期見通し

（十億円）



*27/03については、上期実績（下段）と下期見込（上段）を表示しております。

Agenda

1部　2026年度　中間期　業績概要

2部　2026年度　通期　業績予想

3部　トピックス

© 2026 Hosiden Corporation



1部　2026年度　中間期　業績概要

2部　2026年度　通期　業績予想

3部　トピックス

© 2026 Hosiden Corporation

2026年度　中間期　実績

	2025年度 中間期		2026年度				前年同期比	
	（百万円）	利益率（%）	Q1（百万円）	Q2（百万円）	中間期（百万円）	利益率（%）	（百万円）	（%）
売上高	245,426	-	98,130	171,586	**269,716**	**-**	+24,290	+9.9
営業利益	8,098	3.3	4,422	4,804	**9,226**	**3.4**	+1,128	+13.9
経常利益	9,588	3.9	5,475	4,208	**9,683**	**3.6**	+95	+1.0
当期純利益	6,108	2.5	3,636	2,954	**6,590**	**2.4**	+482	+7.9

2026年度　中間期　実績

売上高
2,697億円

前年同期比　：　+243億円（+9.9%）
→アミューズメント+202億円、移動体通信△7億円、
輸送機器+55億円、その他△7億円

営業利益
92.3億円

前年同期比　：　+11.3億円（+1.6%）
→売上高の増加に加え、前年同期において営業利益を押し下げた期中での急激な円高の影響が当中間期にはなかったため。

経常利益
96.8億円

前年同期比　：　+0.9億円（+1.0%）
→営業外 為替差損 2.7 億円（前年同期は9.3億円の差益）

2026年度　中間期　実績：使用機器別売上高

	2025年度 中間期		2026年度				前年同期比	
	（百万円）	構成比（%）	Q1実績（百万円）	Q2実績（百万円）	中間期実績（百万円）	構成比（%）	（百万円）	（%）
アミューズ	197,162	80.3	70,926	146,430	**217,356**	**80.6**	+20,194	+10.2
移動体通信	23,985	9.8	11,926	11,383	**23,309**	**8.6**	▲676	▲2.8
輸送機器	15,589	6.4	10,437	10,639	**21,076**	**7.8**	+5,487	+35.2
その他	8,690	3.5	4,841	3,134	**7,975**	**3.0**	▲715	▲8.2
合計	245,426	100.0	98,130	171,586	**269,716**	**100.0**	+24,290	+9.9

2026年度　中間期　実績：使用機器別売上高

アミューズメント
2,174億円

前年同期比　：　+202億円（+10.2%）

→主要顧客向けの売上が増加

移動体通信
233億円

前年同期比　：　▲7億円（▲2.8%）

→主要顧客からの受注奪還を果たしたものの、メモリー価格の急騰・供給不足によるスマホ市場の需要後退により、顧客需要が減少

輸送機器
211億円

前年同期比　：　+55億円（+35.2%）

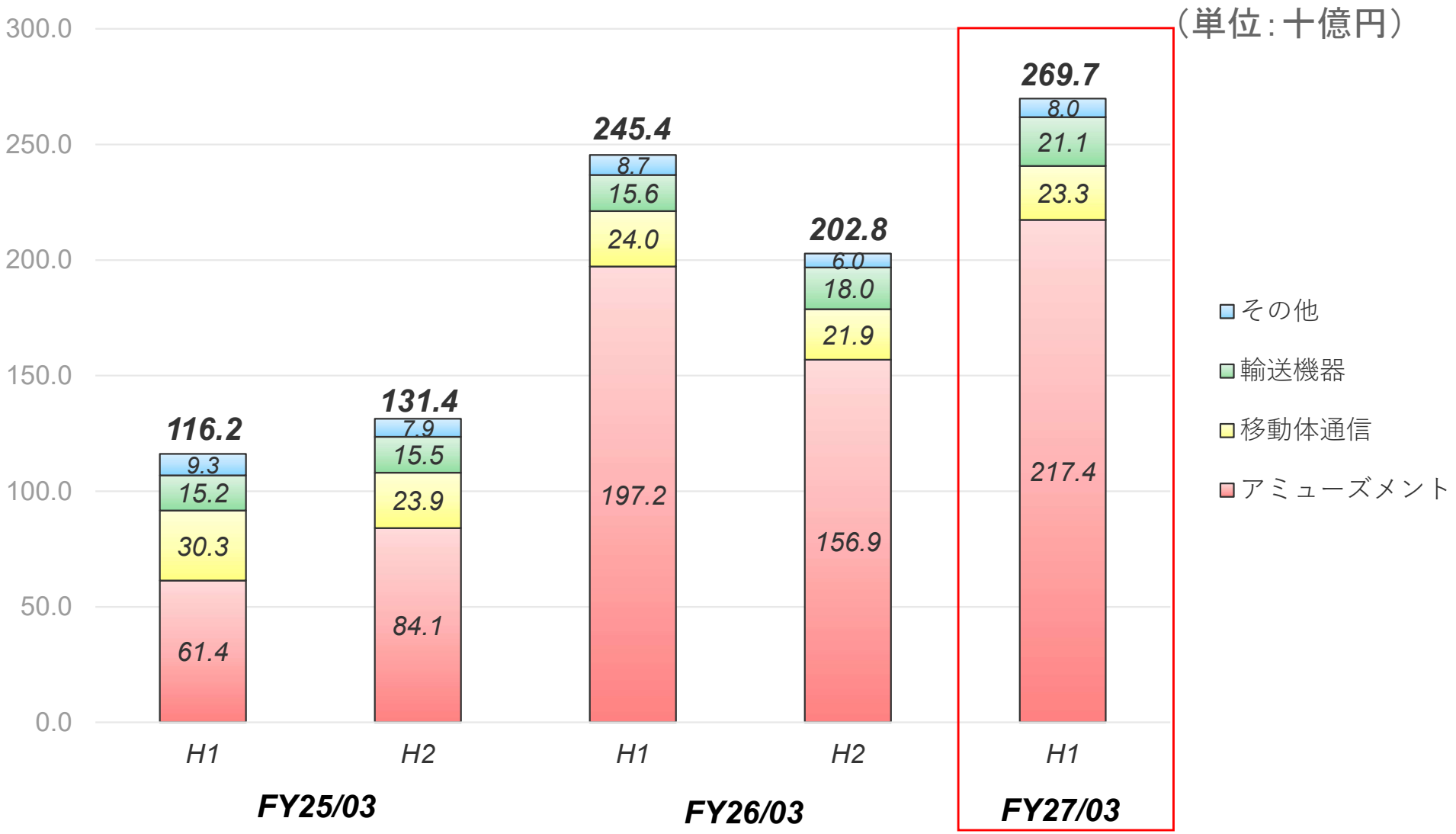
→すべての事業セグメントで増加、特に機構部品セグメントが牽引

その他
80億円

前年同期比　：　▲7億円（▲8.2%）

→ウェアラブル向けの増加があったものの、AV機器関連向けの減少による

2026年度　中間期　実績：使用機器別売上高





1部　2026年度　中間期　業績概要

2部　2026年度　業績予想

3部　トピックス

© 2026 Hosiden Corporation

2026年度　業績予想

	2025年度 実績		2026年度			前年同期比	
	（百万円）	利益率（%）	上期実績（百万円）	通期予想（百万円）	利益率（%）	（百万円）	（%）
売上高	448,250	-	269,716	**436,000**	**-**	△12,250	△2.7
営業利益	19,236	4.3	9,226	**18,000**	**4.1**	△1,236	△6.4
経常利益	24,644	5.5	9,683	**18,000**	**4.1**	△6,644	△27.0
当期純利益	16,206	3.6	6,590	**12,500**	**2.9**	△3,706	△22.9

2026年度　業績予想

売上高
4,360億円

・2026年5月8日に開示した予想から変更はありません。
　ただし、使用機器別売上高の内訳は変更がありますので、次ページ及び次々ページを参照して下さい。

営業利益
180億円

・2026年5月8日に開示した予想から変更はありません。

経常利益
180億円

・2026年5月8日に開示した予想から変更はありません。

2026年度　通期予想：使用機器別売上高

（単位：十億円）



2026年度　通期予想：使用機器別売上高

アミューズメント

・**期初公表 3,332億円→3,357億円（期初公表比+0.8%）**
→Q3はQ1並みの販売を想定。Q4は生産調整局面を想定。
*Q4はクリスマス商戦の結果次第となるが、シーズナリティを前提として想定している。

移動体通信

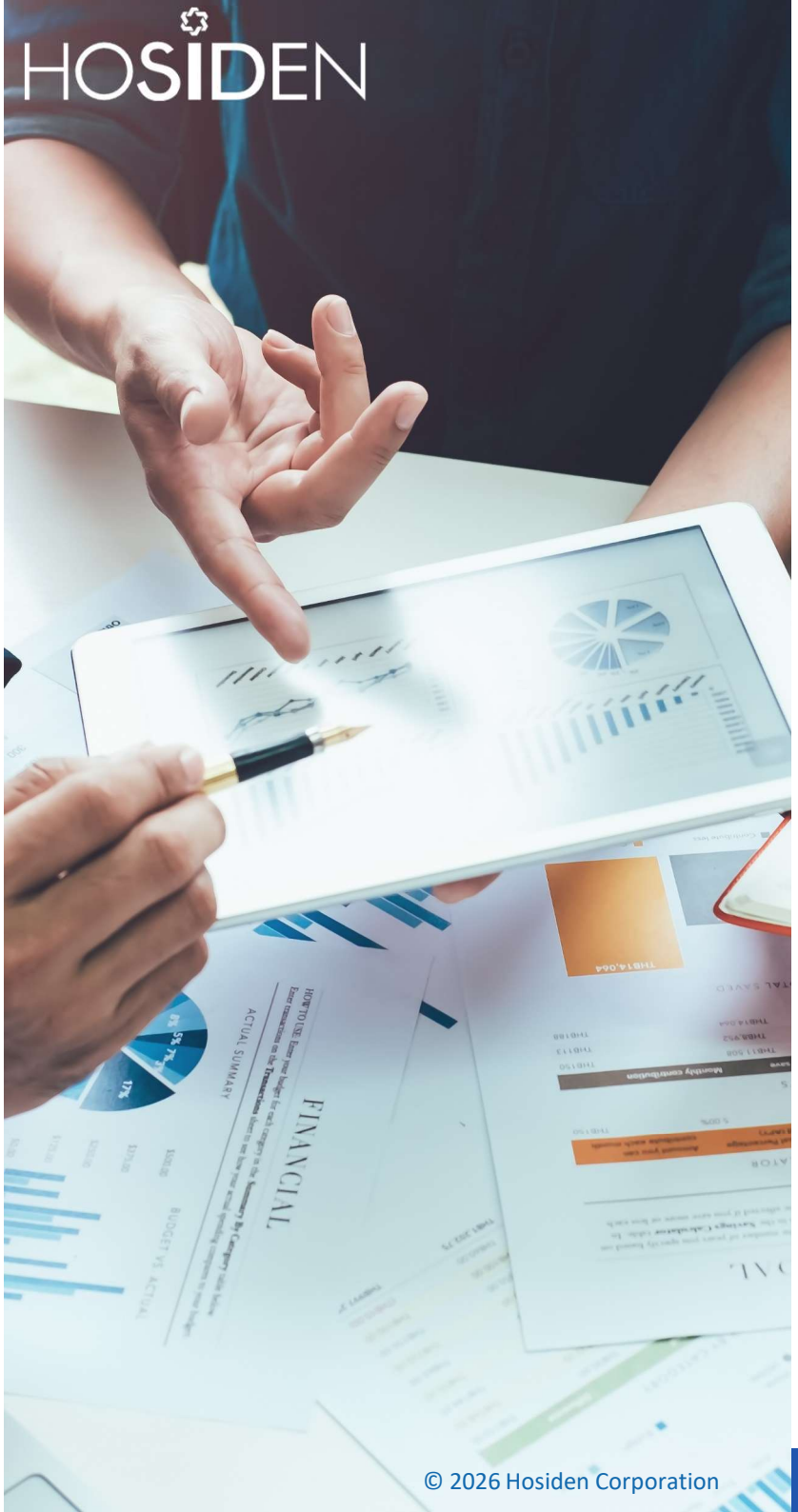
・**期初公表 529億円→449億円（期初公表比▲15.1%）**
→メモリー価格の急騰・供給不足によるスマホ市場の後退により、主要顧客の需要が減少している。

輸送機器

・**期初公表 359億円→414億円（期初公表比+11.5%）**
→顧客の需要回復及び新規取引商品の販売増加により、すべての事業セグメントで販売増加を見込む。

その他

・**期初公表 140億円→140億円（期初公表比 ー %）**
→期初公表から変更なし。



1部　2026年度　中間期　業績概要

2部　2026年度　業績予想

3部　トピックス

© 2026 Hosiden Corporation

中間期　売上高レコード更新

（単位：億円）

売上高	中間期	通期
レコード	2025年度 2,454	2008年度 4,537
2026年度	2,697	（予測）4,360

*当中間期の連結売上高は2025年度のレコードを更新しました。

© 2026 Hosiden Corporation

キャッシュポジション

（十億円）	FY2025/03 Q1	Q2	Q3	Q4	FY2026/03 Q1	Q2	Q3	Q4	FY2027/03 Q1	Q2
売上高	57.9	58.3	63.6	67.8	116.3	129.1	129.6	73.2	98.1	171.6
運転資金 *	44.8	47.4	54.0	69.2	78.0	75.1	72.2	64.8	82.8	90.9
ネットキャッシュ	73.7	70.9	58.9	48.3	38.9	48.6	58.5	68.2	44.6	41.7

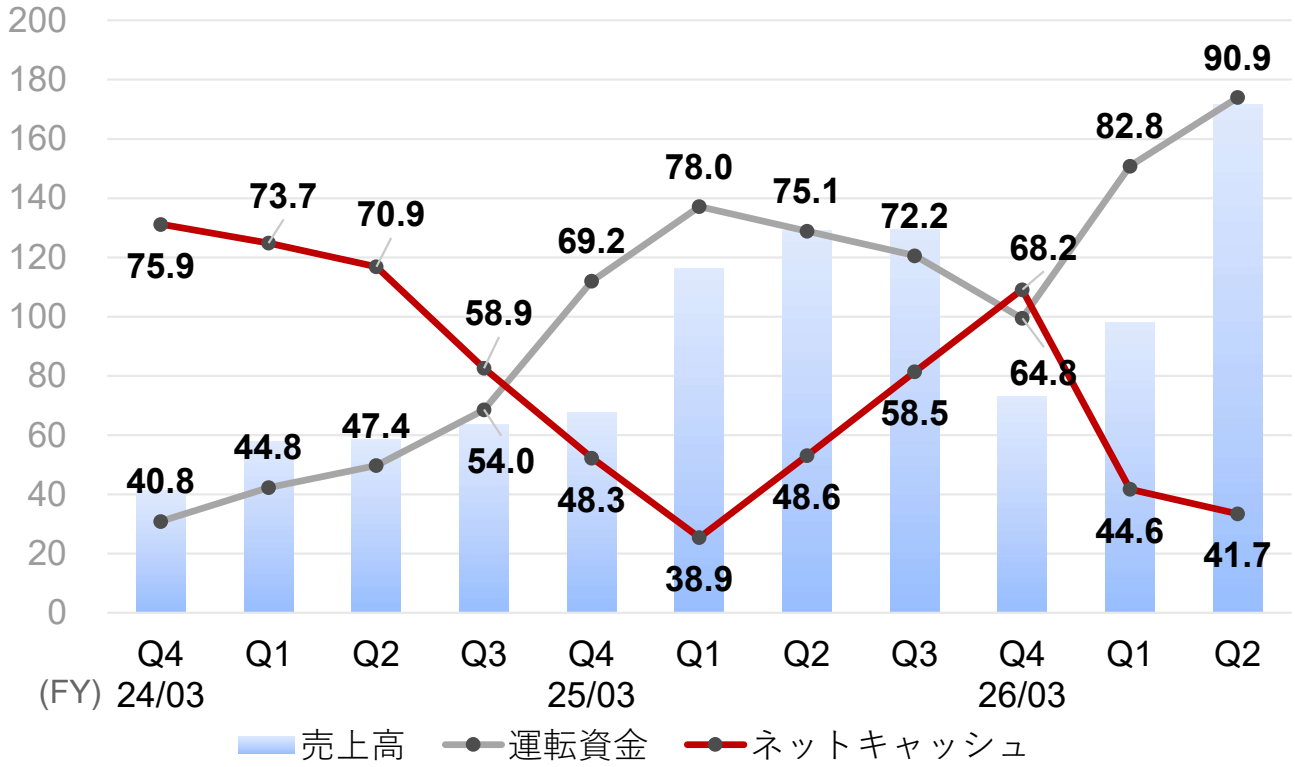
*（売掛金＋外注先未収入金＋在庫）－買掛金

【説明】

売上（水色棒グラフ）の上昇局面では必要運転資金（灰色折れ線）が増加し、極端にネットキャッシュ（朱色折れ線）は減少します。

キャッシュ不足時は外部からの資金調達は避け、グループ内の資金を融通しあうことにより、ROAの悪化を防いでいます。

2026年度上期は季節性による売上増加のため、Q2にはネットキャッシュが極端に減少しました。

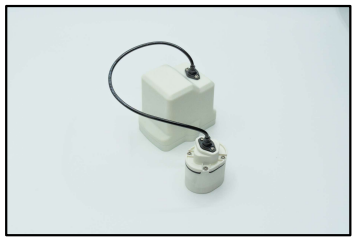


センサー関連　主要製品ラインアップ



・振動センサ

→産業機械・インフラ関係設備等が設置されている現場において、異常振動を判断し、アラート信号を発信することにより事故を未然に防ぐ。



・サイロ残量検知

→サイロ内の内容物の有無及び残量を観測。高所や危険個所における観測業務を無人化・自動化が可能。



・マルチセンサモジュール

→防災センサとして、自然災害の早期検知や道路等のインフラ設備の損傷度監視。防水、耐環境性があり、屋外設置可。
（測定可能なもの　振動/衝撃/温度/気圧　等）



・高周波CTセンサ

→電線を伝わる高周波ノイズの検知により、老朽化した配電線インフラの故障予知が可能。



・マルチユースミリ波センサ（測距センサ）

→用途例：タンク残量・水位監視（工場/インフラ設備/暗渠・側溝/水田など）
人感センシング（公共トイレ/オフィス/飲食店など）
トンネル・橋梁など建造物の形状変動監視。

© 2026 Hosiden Corporation

ベトナム　新工場

建設目的

・生産能力の増強（過去には６か所あった中国工場が2026年11月現在は２か所）

・米国での関税対策も含め中国以外の国・地域での拡張

新工場　ホシデンベトナム（バクニン市）の８号棟

・2026年3月稼働開始

・床面積　24,000㎡（１フロアー6,000㎡×4フロアー）

・屋上には太陽光パネルを設置し2026年８月稼働開始



© 2026 Hosiden Corporation

インド　新工場

建設目的

・インド国内での生産及び、インド国内外への販売拡大

新工場　ホシデンインディア

・ロケーション　インド北部、デリー近郊の工業都市マネサール

・生産販売品目（予定）　空調機用リモコン及び車載用マイクの生産販売

・事務棟3階建、生産棟2階建

・2026年10月車載用マイクの生産販売を開始



© 2026 Hosiden Corporation

太陽光パネル設置の様子

稼働中



ホシデン和歌山㈱



ホシデン九州㈱



ホシデンベソン 第一期（英国）



ホシデン東京事業所

稼働中



ホシデン本社5号館



ホシデンベトナム（1,2,3号棟）*



ホシデンベトナム（８号棟）*

*太陽光パネルを赤色表示しています

カーボンニュートラルに関する取り組み

ＣＯ２削減目標

【SBT水準のCO2排出量削減目標】
・中間目標：2030年度末までに2023年度基準で総排出量42％削減(Scope1,2)
2030年度末までに2023年度基準で総排出量25％削減(Scope3)

拠点	年間CO2削減量	CO2削減率	稼働時期
ホシデン和歌山㈱	83 ton	38.10%	2022年10月
ホシデン九州㈱	180 ton	15.19%	2023年2月
ホシデンベソン	31 ton	37.57%	2023年4月（第一期） 2023年9月（第二期）
ホシデン東京事業所	39 ton	33.07%	2024年9月
ホシデン本社5号館	96 ton	8.22%	2024年12月
ホシデンベトナム(1,2,3号棟)	630 ton	3.69%	2026年8月
ホシデンベトナム(8号棟)	700 ton	4.10%	2026年8月

※上記とは別に2014年4月よりホシデン本社3号館屋上で太陽光パネル稼働

事務所・生産棟照明のLED化、再生可能エネルギーを使用した電力の購入等にも取組中

© 2026 Hosiden Corporation



- CDP（Carbon Disclosure Project）スコア
  - **CDPとは2000年にイギリスで発足した国際NGO（非政府組織）**
  - **機関投資家だけでなく個人投資家が投資先企業を選定する基準の一つ**

ホシデンのCDPにおける評価の推移

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
CDP評価（気候変動）	D⁻	D	D⁻	D⁻	D⁻	D	C	B	B	B	未定

© 2026 Hosiden Corporation

※本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようにお願いいたします。



THANK YOU !

https://www.hosiden.com/

© 2026 Hosiden Corporation